




石造宝篋印塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうほうきょういんとう
所在地	久米南町里方
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	建久4年(1193)、法然上人生誕の地に熊谷直実が建立したとされる、誕生寺の一面に所在する。総高112cmの花崗岩製で、基礎・塔身・笠・相輪の各部が完存する。基礎の四面に入れた格狭間に蓮華を浮彫にし、ほぼ立方体の塔身正面は舟形に掘りくぼめて阿弥陀如来座像を半肉彫し、他の3面には種子を陰刻している。笠の四隅はわずかに外方に開き、相輪はやや太くて短い。無銘であるが、様式から、南北朝時代の造立と考えられている。
アクセス方法	JR誕生寺駅から徒歩約10分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ  障害者用トイレ 
備考	